

こころる便り

第272号
令和4年11月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kiminami@shingu.co.jp
電話079-1-755-1212



新宮運送ホームページ

波をつくる

汗ばむような気温から急に冷え込むようになって、秋が深まるというよりも冬が突然やってきたという印象をもつ季節の移り変わりです。風邪をひかないようお互い注意してまいりましょう。

10月25日に大型ドライバーの西川橋蔵さんと共に国土交通大臣表彰をいただきました。全日本トラック協会の坂本会長からは、「ダブル受賞は今まで聞いたことがない。おめでとう！」と声をかけていただきました。昨年は、4トンドライバーの田場典一さんが同じく大臣表彰をいただきました。多くの皆さまの支えで安全な運行をしてきた現場の努力が報われていくことが嬉しいことです。

しかしながら、現実には厳しく向き合わざるを得ません。働き方改革だけではなく、仕事をせずに休みを取れとの流れが連休を増やして「波が大きく」なってきたのです。

物流政策は、波を小さくして安定させることでコストを最も安くすることができるとは、できなくなる条件ばかりが増えて、波は大きくなってきました。結果としてどうなるかという、大きな波の時にはブレーカーが落ちて停電して、波が小さなきには余ってしまうという電力事情と同じ形が生まれてくるのです。

機械を動かすために、電圧調整をするインバ

ーターというものが電気の供給を安定させて機械が止まらない役割を果たすのですが、物流の世界では人間の労働力がほとんどです。ゴムのように伸び縮みできるならいいのですが、何度も繰り返していくうちに「ブチッ！」と切れる時がやってきます。

日野自動車は不正問題で新車の大型トラックは、未だに製造されていません。トラックドライバーはというと、労働時間が長い割に給料が安いとのミスマッチが増えてきません。自動運転するとしても今の道路では実現できるのはごく一部だけです。

「日本経済を支えていく物流業界」と持ち上げられても、このままではいくと大きな波に呑み込まれていく恐れを拭うことはできません。

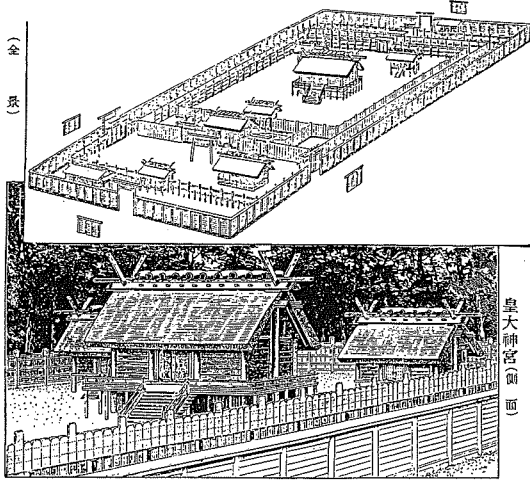
現場に光を当てて問題に真正面から向き合うことが抜け落ちていて、問題はいつになっても解決しません。揚げ足取りの国会議員の政治だけではない、それぞれが仕事の上で求められているのは「安ければいい」ではなく、「より良いものを、より安く」という知恵を集める原動力です。臆することなく、厳しい現実の波を越えていきたいものです。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學國史 上巻

第一天照大神 ②



御孫を此の國にくだしたまふ

素戔鳴尊の御子に大國主命と申す御方ありて、出雲地方を平けたまひしが、其の他の地方には、わるものどもなほ多かりき。大神は御孫瓊杵尊をくだして、此の國をさめしめんとおぼしめし、まづ使をつかはして、大國主命の平けたまへる地方をたてまつらしめたまひしに、命よるこびて其の仰にしたがひたまへり。大神瓊杵尊に向ひて

わが國體の基

つゝの世までも動きなきわが國體の基は、實にこゝに定まれり。大神はまた八坂瓊曲玉八咫鏡天叢雲劍を瓊杵尊に授けたまひき。之を三種の神器といふ。尊は之を奉じ、あまたの神々をしたがへて日向にくだりたまへり。これより神器は、御代々の天皇あひつたへて皇位の御しるしとしたまへり。

三種の神器を授けたまふ

つづく